

令和8年度 組織目標

様式1

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
子ども若者部	子ども若者政策・私学振興課	課長 川副 馨	社会全体での子どもを真ん中においた行動の推進	(1)新たな「すまいる・あくしょん」を企業・市町等とともに強力に推進 (2)子どもの権利および滋賀県子ども基本条例の普及啓発		
子ども若者部	子ども若者政策・私学振興課	課長 川副 馨	子どもの体験活動の推進	(1)各種情報を集約した「しがこども体験学校」を子ども目線でリニューアルするとともに、夏季開催プログラムを「しがのこどものなつやすみ」として発信 (2)「滋賀県と沖縄県の交流連携に関する協定」に基づく子ども若者の交流プログラムの検討		
子ども若者部	子ども若者政策・私学振興課	課長 川副 馨	子ども・若者の夢や希望に向けた挑戦を応援	(1)日々の素朴な疑問などからサイエンス(科学)の面白さを知り、学びの意欲や探求心を深める「坂口志文しが未来サイエンス賞」表彰事業の実施 (2)国籍等で区別することなく、すべての子どもたちが安心して学べる環境の整備		
子ども若者部	子ども若者政策・私学振興課	課長 川副 馨	デジタルツール等を活用した効率的な業務運営	・私立学校の「奨学のための給付金」支給拡大に伴う業務量増加等について、庁内支援チームと連携した業務効率化(デジタルツールの活用による業務手順簡素化など)		●
子ども若者部	子どもの権利室	室長 清水 仁	子どもの権利侵害等、子どもがSOSを相談しやすい環境づくり	「子ども・子育て応援センター」(こころんだいやる)や「子どもの権利委員会」の相談窓口の周知等により、子どものSOSを適切にキャッチできる相談しやすい環境の整備・充実。		
子ども若者部	子どもの権利室	室長 清水 仁	子どもの権利にかかる周知啓発	条例パンフや出前講座、県の広報媒体など、様々な手法を用いて、子どもや保護者、支援者、学校、県民などに対する「子どもの権利」にかかる周知啓発		

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
子ども若者部	子どもの育ち学び支援課	課長 江村 智子	しがの学びと居場所の保障プランに基づく包括的支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不登校等の子ども相談支援強化事業」等を通じた、子ども・保護者が抱える生きづらさ・背景等の実態把握、相談援助の好事例収集および各支援団体への横展開</li> <li>・「不登校の子ども支援のアセスメント力向上研修」の着実な実施および令和9年度以降の効率的・効果的な展開に向けた手法検討</li> <li>・義務教育課程修了後も切れ目なく適切な支援が受けられ、学びの機会が確保される手立ての検討</li> </ul>		
子ども若者部	子どもの育ち学び支援課	課長 江村 智子	子どもの自殺防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺未遂や自傷行為のある子どもへの対応に困難さを感じている学校を適時に支援するとともに、現場での課題を把握しより適切な支援を検討する。</li> </ul>		
子ども若者部	子どもの育ち学び支援課	課長 江村 智子	電子決裁の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレスによる電子決裁を引き続き推進する。</li> </ul>		●
子ども若者部	子育て支援課	課長 和泉 純司	安心・安全な子育て支援環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年10月から開始された保育所等の職員による虐待通報制度に基づく適切な相談等受付体制・立入調査実施体制の構築</li> <li>・令和8年12月施行予定の「こども性暴力防止法」義務対象施設(所管分)の準備作業円滑化のための支援の充実</li> </ul>		
子ども若者部	子育て支援課	課長 和泉 純司	「保育士として働きたい」と感じる人の割合	<p>目標値 75%以上          &lt;参考 実績値 R6:68.3%、R7 76.8%&gt;</p>		
子ども若者部	子育て支援課	課長 和泉 純司	プレコンセプションケアの推進	<p>プレコンセプションケア講師派遣事業で期待通りの講義だったと回答した依頼元100%</p>		
子ども若者部	子育て支援課	課長 和泉 純司	業務プロセスの見直し等による効率化の推進	<p>業務プロセスの見直しによる作業時間の短縮や、紙帳簿の電子データ管理への切り替え、一部業務の決裁ルートの簡素化等により、課業務の全体的な効率化を推進する。</p>		●

部局名	所属名	職・氏名	項目	目標	CO2 ネットゼ ロ	業務見 直し
子ども若者部	子ども家庭支援課	課長 松田 敏浩	子どもの貧困解消に向けた施策の推進	・これまでに得られた子ども・若者の声および支援者の意見を踏まえ、子どもの貧困の解消に向けた庁内連携会議において、課題の整理を行うとともに、効果的な支援策を検討・推進する。		
子ども若者部	子ども家庭支援課	課長 松田 敏浩	子ども家庭相談センターにおける人材確保・育成・定着支援	・年間通じて職員の採用選考を実施するとともに、児童福祉司や児童心理司等の専門職の魅力発信を通じて人材確保に取り組む。 ・児童福祉司任用前・任用後研修の開催や外部研修の受講機会を確保や、経験の浅い職員に対するSV等ベテラン職員によるOJTを通じた業務支援やメンタルケア等を実施する。		
子ども若者部	子ども家庭支援課	課長 松田 敏浩	ひとり親家庭への情報提供の充実	・支援を必要としているひとり親家庭に情報が行き届くよう、パンフレットの多言語化や、SNSを活用した情報発信を実施する。		
子ども若者部	子ども家庭支援課	課長 松田 敏浩	児童相談業務の効率化の更なる推進	・児童相談記録の概要作成について、国が提供する業務サポートAIシステム(相談記録の自動文字起こし、要約)を活用するなど、子ども家庭相談センターにおける業務の効率化を更に推進する。		●
子ども若者部	子ども家庭支援課	課長 松田 敏浩	公用車更新時における電気自動車等の導入	子ども家庭相談センターにおける公用車の更新に合わせて、電気自動車やHV車を導入し、CO2削減を推進する。	●	